ＮＴＴグループ弓道連盟の歩み

昭和 41 年 10 月 15 日 ○日本電信電話公社弓道連盟結成
会　長　松田正一（東京統制電話中継所）
副会長　浦井　武（横浜統制無線中継所）
副会長　佐坂一正（九州通信局資材部長）

昭和 44 年 8 月 10 日 ○役員改選
会　長　松田正一（元技術局調査役）
副会長　浦井　武（東京無線通信部）
副会長　傍島忠義（電気通信研究所企画調査室調査役）
副会長　西　敏雄（九州通信局経営調査室長）

昭和 45 年 11 月 28 日 ○電電公社東伏見弓道場「信和館」落成　（東京都保谷市）
○役員改選
会　長　松田正一
副会長　傍島忠義
副会長　川久保正人（九州通信局経営調査室長）

昭和 48 年 9 月 8 日 ○役員改選
会　長　松田正一
副会長　傍島忠義（研究開発本部調査役）
副会長　村上文章（九州通信局土木工事部長）

昭和 49 年 9 月 8 日 ○役員改選
会　長　松田正一
副会長　傍島忠義（研究開発本部調査役）
副会長　小野文明（九州通信局土木工事部長）

昭和 50 年 1 月 1 日 ○連盟組織改編
通信局単位の支部制導入
○役員改選
会　長　橋本真澄（理事　東京電気通信局）
副会長　小野浄治（データ通信本部第四データ部長）

昭和 50 年 4 月 1 日 ○新組織発足
九支部（東京、関東、信越、東海、北陸、近畿、中国、九州、本社）
○役員改選
会　長　橋本真澄（前公社理事　現日本コムシス㈱顧問）
副会長　小野浄治（技術局次長）

昭和 50 年 9 月 28 日 ○全国弓道大会実施要領制定
団体戦－３名１チーム
個人戦－２部制（オープン戦）

昭和 51 年 9 月 26 日 ○役員改選
会　長　植田義明（保全局長）
副会長　小野浄治（データ通信本部副本部長）

昭和 52 年 9 月 25 日 ○規約改正
支部制改編により全面見直し
○東北支部承認（１０支部となる）

昭和 53 年 12 月 20 日 ○四国支部承認（１１支部となる）

昭和 55 年 9 月 21 日 ○役員改選
会　長　小野浄治（東海電気通信局長）
副会長　松田亮一（横須賀通研宅内機器研究部長）

昭和 56 年 5 月 2 日 ○第 32 回全日本弓道選手権大会（京都）遠的の部に於いて野中秀治錬士五段
(近畿通信局保全工事事務所)優勝－前人未踏の射詰６０本で決定！！

昭和 56 年 9 月 13 日　○全国弓道大会実施要領改正
　　団体戦－１支部５名１チーム（決勝は１チーム３名のトーナメント制）

昭和 58 年 9 月 24 日　○役員改選
　　会　長　松田亮一（横須賀通研宅内機器研究部長）
　　副会長　寺西　昇（施設局次長）

昭和 60 年 4 月 1 日　○民営化－日本電信電話株式会社ＮＴＴ誕生
　　「ＮＴＴ弓道連盟」と名称変更
　　○ＮＴＴ弓道連盟規約制定
　　○中央電気通信学園支部・鈴鹿電気通信学園支部承認（１３支部となる）
　　○ＮＴＴ全国弓道大会実施要領制定
　　団体戦－１支部５名１チーム（トーナメント制）
　　個人戦－男子１～３部、女子の部の４部制

昭和 60 年 5 月 3 日　○第 36 回全日本弓道選手権大会（京都）錬士の部に於いて野中秀治錬士六段
　　（関西支部）優勝

昭和 61 年 5 月 2 日　○第 37 回全日本弓道選手権大会（京都）遠的の部に於いて野中秀治錬士六段
　　（関西支部）優勝

昭和 62 年 1 月 21 日　○日本スポーツ賞　野中秀治錬士六段（関西支部）受賞

昭和 62 年 5 月 2 日　○第 38 回全日本弓道選手権大会（京都）遠的の部に於いて野中秀治錬士六段
　　（関西支部）優勝

昭和 62 年 10 月 5 日　○役員改選
　　会　長　寺西　昇（ＮＴＴ理事、東北総支社長）
　　副会長　大谷紀幸（電話事業サポート本部総合企画担当部長）
　　副会長　豊川一男（関東支部長、関東設備建設総合センタ土木部長）

昭和 63 年 5 月 2 日　○第 39 回全日本弓道選手権大会（京都）遠的の部に於いて野中秀治錬士六段
　　（関西支部）優勝－３年連続５回目の優勝！！

昭和 63 年 9 月 26 日　○役員改選
　　会　長　寺西　昇（ＮＴＴ取締役、東北総支社長）
　　副会長　大谷紀幸（電話事業サポート本部総合企画担当部長）
　　副会長　会田暁生（関東支部長、関東設備建設総合センタ土木部長）

平成元年 9 月 25 日　○役員改選
　　会　長　寺西　昇（ＮＴＴ取締役、電話事業サポート本部長）
　　副会長　大谷紀幸（ＮＴＴ理事、経営企画本部整備部長）
　　副会長　会田暁生（関東支部長、関東設備建設総合センタ土木部長）

平成 2 年 10 月 8 日　○役員改選
　　会　長　寺西　昇（ＮＴＴ常務取締役、電話事業サポート本部長）
　　副会長　大谷紀幸（ＮＴＴ理事、研究開発技術本部副本部長）
　　副会長　田中篤夫（関東支部長、関東設備建設総合センタ土木部長）

平成 3 年 6 月 8 日　○第 38 回全日本勤労者弓道選手権大会に於いてＮＴＴ東京支部・第四位

平成 3 年 6 月 8 日　○第 26 回大会から団体戦優勝支部に社長杯を授与する（持ち回り）

平成 3 年 9 月 16 日　○役員改選
　　会　長　大谷紀幸（ＮＴＴ理事、研究開発技術本部副本部長）
　　副会長　和才博美（ＮＴＴ東京支社副支社長）
　　副会長　田中篤夫（関東支部長、関東設備建設総合センタ土木部長）

平成 3 年 10 月 26 日　○第 11 回全日本実業団遠的大会に於いてＮＴＴ東京支部・優勝

平成 3 年 11 月 19 日　○第 11 回全日本実業団遠的大会でＮＴＴ東京支部・優勝の活躍で社長表彰受賞

平成４年 ９月 12 日　○全国大会実施要領一部改正
男子一部、三部及び女子の部を６射の的中制に変更
男子二部の決勝戦射詰めは最初から 24 ㎝的使用に変更
○第 27 回大会から男子二部優勝者にＮＴＴ弓道連盟会長杯を授与する（持ち回り）

平成４年９月 14 日　○役員改選
会　長　大谷紀幸（ＮＴＴ移動通信網㈱常務取締役総務部長）
副会長　和才博美（ＮＴＴ東京支社副支社長）
副会長　田中篤夫（関東支部長、関東設備建設総合センタ土木部長）

平成５年６月 13 日　○第 40 回全日本勤労者弓道選手権大会に於いてＮＴＴ東京支部・準優勝

平成５年 10 月 31 日　○役員改選
会　長　大谷紀幸（ＮＴＴ移動通信網㈱常務取締役総務部長）
副会長　和才博美（ＮＴＴ本社人事部次長　人材開発室長兼務）
副会長　田中篤夫（関東支部長、関東設備建設総合センタ土木部長）

平成６年６月 12 日　○第 41 回全日本勤労者弓道選手権大会に於いてＮＴＴ東京支部・準優勝

平成６年９月 11 日　○役員改選
会　長　大谷紀幸（ＮＴＴ移動通信網㈱常務取締役総務部長）
副会長　和才博美（ＮＴＴ本社人事部次長　人材開発室長兼務）
副会長　田中篤夫（関東支部長、関東設備建設総合センタ土木部長）
○ＮＴＴＤｏＣｏＭｏ支部発足加盟（１３支部体制）グループ企業として初参加

平成７年 10 月８日　○第３０回大会開催。本大会から当連盟オリジナルメダル・楯を製作導入
○北海道及びＮＴＴプリンテック２支部発足加盟
尚、中央・鈴鹿両研修センタ支部は組織化図れず休部
また、中国支部は事務局扱い（１３支部体制）

平成７年 10 月９日　○役員改選
会　長　和才博美　（ＮＴＴ企画室次長）
副会長　赤羽根靖隆（ＮＴＴマルチメディアビジネス開発部担当部長）
副会長　小柳隆司　（ＮＴＴ関東設備建設総合センタ基盤設備部長）

平成８年９月 15 日　○弓道連盟創設３０周年記念第３１回大会開催
○全国大会実施要領一部改正
団体戦前年優勝、準優勝支部のシード権及び敗者復活戦の廃止
個人戦男子一部、三部及び女子の部を四ツ矢２回８射に変更
○役員改選
会　長　和才博美　（ＮＴＴ理事企画室次長）
副会長　赤羽根靖隆（ＮＴＴマルチメディアビジネス開発部担当部長）
副会長　小柳隆司　（ＮＴＴ関東設備建設総合センタ基盤設備部長）

平成９年６月８日　○第 44 回全日本勤労者弓道選手権大会に於いてＮＴＴ東京支部・第四位

平成 10 年９月 12 日　○NTT グループ弓道連盟に改称。規約の一部改訂。役員の名称を監事と理事とし、各支部２名とした。常任理事を新設。会員名称で準会員を廃止し、正会員に統合した。会員資格の拡大。
○大会実施要領の一部改訂
個人戦は、全て三色的使用の点数制とした。男子一部を弐段以下、男子二部を参段以上、男子三部を６０歳以上とした。

平成 10 年９月 25 日　○第 49 回全日本男子弓道選手権大会（天皇盃）ＮＴＴ四国支部名越徳夫
教士七段三位入賞

平成 11 年６月 13 日　○第 46 回全日本勤労者弓道選手権大会に於いてＮＴＴ東京支部・第五位

平成 11 年 10 月 30 日　○支部名の変更　本社支部改め中央支部
平成 12 年６月 11 日　○第４７回全日本勤労者弓道選手権大会に於いてＮＴＴ東京支部・第三位

平成 12 年 9 月 23 日　○大会実施要領の一部改訂
　個人戦を霞的使用の的中制に戻した。射行は団体戦と男子三部を座射とする。
○支部の改編並びに新支部の追加
　データ支部の発足。プリンテック支部と BJ 統合し、BJ 支部に改編。
○役員改選
　副会長　佐々木崇　（東日本　相互接続推進部長）
　副会長　山田隆持　（西日本　設備部長）

平成 12 年 10 月 23 日 ○第 49 回全日本実業団大会に於いてＮＴＴ東京支部・第三位・第五位・第六位

平成 13 年 6 月 10 日　○第 48 回全日本勤労者弓道選手権大会に於いてＮＴＴ東京支部・第四位

平成 14 年 8 月 31 日　○役員改選
　副会長　真田康臣　（東日本　総務部長）

平成 15 年 9 月 6 日　○大会実施要領の一部改訂
　個人戦男子二部を四ツ矢２回８射に変更

平成 16 年 6 月 13 日　○第 51 回全日本勤労者弓道選手権大会に於いてＮＴＴ東京支部・第五位

平成 16 年 9 月 11 日　○役員改選
　会　長　山田隆持　（持株会社　副社長）
　副会長　片山泰祥　（西日本　基盤サービス部長）
○北陸支部が活動休止

平成 16 年 10 月 27 日 ○第 59 回国民体育大会弓道競技に於いてＢＪ支部藤原真、データ支部頼政秀幸が東京都代表で近的競技優勝

平成 17 年 6 月 12 日　○第 52 回全日本勤労者弓道選手権大会に於いてＮＴＴ東京支部・準優勝

平成 17 年 9 月 23 日　○役員改選
　副会長　前田幸一　（コミュニケーションズ　コンシューマ＆オフィス事業部長）

平成 17 年 12 月 22 日 ○第 55 回日本スポーツ賞（読売新聞社制定）弓道競技優秀選手を関西支部野中秀治が受賞

平成 19 年 9 月 9 日　○ＢＪ支部が今大会（第 42 回 NTT-G 大会）をもって解散

平成 20 年 9 月 13 日　○役員改選
　会　長　片山泰祥　（持株会社　取締役）
　副会長　髙畠宏一　（西日本　ネットワーク部長）

平成 20 年 10 月 19 日 ○第 56 回全日本実業団弓道大会に於いてＮＴＴ東京支部・優勝

平成 21 年 10 月 31 日 ○北陸支部が活動再開

平成 22 年 3 月 31 日　○ＮＴＴ東伏見弓道場「信和館」閉館

平成 22 年 5 月 1 日　○ＮＴＴ四国支部名越徳夫教士八段が範士に昇格

平成 23 年 10 月 30 日　○第６２回全日本弓道遠的選手権大会に於いてＮＴＴ関西支部野中秀治教士七段が優勝

平成 24 年 9 月 8 日　○役員改選
　副会長　中川裕（東日本 代表取締役副社長）

平成 25 年 8 月 24 日　○名越賞を創設、全国大会個人総合優勝者への授与を決定

平成 26 年 9 月 6 日　○役員改選
　会　長　島田明　（持株会社　取締役　総務部門長）
　副会長　阪本作郎　（東日本　取締役　営業推進本部長）
　副会長　黒田吉広　（西日本　取締役　ネットワーク部長）
平成 27 年 10 月 3 日　○役員改選
　副会長　關　雅夫　（東日本　取締役　営業推進部長）

○JIP（日本電子計算㈱）支部発足加盟

平成 29 年 10 月 15 日 ○第 65 回全日本実業団弓道大会に於いてＮＴＴ東京支部・優勝

平成 30 年 9 月 1 日　○役員改選
会　長　北村　亮太　（持株会社　取締役　経営企画部門長）
副会長　鳥越　隆　（東日本　取締役　営業推進本部長）

令和元年 9 月 14 日　○役員改選
副会長　伏屋　敦弘　（東日本　取締役　営業推進本部長）
副会長　猪俣　貴志　（西日本　取締役　デジタル改革推進本部長）